

6 タカチホヘビ

(タカチホヘビ科)

兵庫県ランク:C

Achalinus spinalis

環境省ランク:-

種の概要

本州、四国、九州に分布。中国南部からも同種の個体群が報告されているが、要検討。全長40～60cmほどの小型の無毒蛇で、背面は暗褐色から黄褐色まで個体変異が見られるが、いずれも背中中部に黒線がはしる。体鱗の配列は敷石状で尾下板が左右に二分しない点で、日本本土に分布する他のすべてのヘビ（体鱗の配列は瓦状で、尾下板は左右に二分）と区別できる。



写真提供: 森 哲

県内における生息状況及びその他特記事項

県内での発見例は少ないが、数が少ないだけでなく小型で地味な体色をしており、岩や倒木、落ち葉などの下に隠れる性質が強いことにも起因すると考えられ、実際、三田市などでは、ごく限られた範囲の中で多数が確認されている。

保護上の留意点

爬虫類としては高温と乾燥に弱く、夏季など乾いた側溝などに落下すると、短期間で死亡し干からびてしまう。ほぼ完全にミミズを専食することと併せて考えるならば、湿潤でミミズの多い土壌をたくわえた環境のあることが、タカチホヘビの生息にとって重要であろう。したがって移動を妨げ分断する効果のある側溝の敷設も、生息地の周辺では極力、避けるべきであろう。

県内分布

神戸市、川西市、三田市、佐用町、豊岡市、養父市、香美町、丹波市

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
特殊性	遺伝	
	特殊	△
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	△



【執筆者】太田 英利